

早池峰山&岩手山山行報告

【山行日】2016年10月 1日~2日(土日)
【集 合】栃木市運動公園P AM 3:00
【費 用】マイカー1台 : 19,500円
【メンバー】CL:鈴木ユ 石川、岩瀬、大西、関
1日 晴れ 川原坊Pから小田越経由で早池峰山
にピストンで登り、下山後岩手山麓のペンションへ
栃木市運動公園P3:00=川原坊 P8:10/8:30~小田越
9:10~五合目 10:50~早池峰山 11:50/12:25~小田越
14:30/14:40=川原坊 14:45=ペンション「山賊」16:30

1日~4日の予定で、荒川三山から赤石岳を周遊する予定だったが天気が良くない予報になっていた。

前日正午の天気予報を見て、決行するか決めることにしたら K 川さんから仕事のトラブルでキャンセルの連絡が入った。天気が悪い中、我輩一人では無理と判断し行き先を天気が良い東北北部に変更した。いろいろ検討した結果、二日間天気が安定した岩手県の山とし、早池峰山と岩手山に決め全員に連絡した。そこから、宿の手配が大変だった。岩手国体開会式の日であり、盛岡近辺の宿は空き室無し。

去年の岩手山山行時に利用したペンションに TEL し、ペンション仲間で何とか出来ないかと依頼し、やっとペンション「山賊」を紹介してもらった。

この宿の主人は東京農大山岳部 OB で、ヤマ屋にはとても優しくありがたいペンションだった。

東北道をひたすら走り、紫波 IC で降りて早池峰山登山口の川原坊へ向かった。予定通り川原坊の駐車場に着き、準備を整えてトイレを済ませ出発する。コメガモリ沢を登る正面コース入口にロープが張られ、通行止めの札が掛かっている。5月の大雨で沢の一部が崩落し、通行不可になっているようだ。

仕方がなく、下山口の小田越まで道路を歩いて行くことにする。天気が良く、左手にこれから登る早池峰山が大きく聳えている。歩きながら、ふと右の枯れた木の



の根元を見るとキノコが生えていた。良く見るとナラ茸なので、山の恵みをいただくことにする。40分ほどで小田越の登山口に到着し、小休止してトイレを済ませる。ここからアオモリドマツやコメツガの樹林帯の中、木道を通って登り始める。しばらく登ると大きな岩を登るようになり、眺望が開けた1合目に着く。ここから5合目までは、夏場であれば蛇紋岩の岩場と草原に咲くお花畑を辿るコースだが今はもう終わっている。それでもオヤマリンドウやナンブトラノオが少し残っており、疲れを癒してくれる。周りを見渡すと、緑のハイマツの中に真っ赤なナナカマドやドウダンの紅葉が美しい。大きな岩がある5合目

「お金蔵」で休憩し、グレープフルーツを食べ水分を補給する。ここからさらに登ると、巨岩のそそり立つ8合目のハシゴ場に到着。岩壁に2本の鉄梯子が掛かり、慎重に登って行くが角度が緩く前かがみで登るので腰にくる。ハシゴ場を登ると、剣ヶ峰への分岐を経てなだらかな稜線となる。アオモリドマツやコメツガの灌木帯に木道が続く。小さな湿原を経て、川井コースを合せると山頂直下の蛇紋岩の重なりを



登り避難小屋に着く。避難小屋の脇を通り、わずかに登ると早池峰山頂に着く。山頂で記念写真を撮り眺望を楽しむが、ガスが上がってきて西から北側は見えなくなってきた。それでも東から南側は晴れていて、登って来た道や薬師岳、三陸海岸まで見渡すことが出来た。山頂の一角でランチタイムとし、焼きそばとスープを作り美味しくいただいた。食後、I さんが持参したコーヒーを淹れてくれ、皆さん美味しいコーヒーをいただき、至福の時を過ごす。ゆっくりランチを楽しんだら、後片付けをして下山し来た道に戻る。下りは皆さん余裕があり、ハイマツと紅葉が織りなす絨毯や、遠く太平洋の眺望を楽しみながら降りて行く。梯子場を慎重に下り、5合目の「お金蔵」で小休止する。ここから我輩は先行し、川原坊に止めた車を回収して、小田越の登山口まで回すことにする。快足を飛ばし、車を回収して小田越に着き、しばらくすると皆さんが下山してきた。I&I コンビがバッチが欲しいと、小田越山荘へ買いに行くが置いてなく、川原坊のビジターセンターにあると言うので寄って行く。途中の道の駅「はやちね」に寄り、ワインや野菜を買ったが、店の主人とお話してなかなか戻ってこない。やっと戻って来て宿に向い、車中も元気で今日の山や料理の話で盛り上がりやかましい。



ペンションに着くと、なんと去年のペンションの隣のペンションだった。御主人一人で切り盛りしてるので、数組しか客を泊めないが、登山者は優先して受け入れてくれるようだ。山の話になると、仕事を忘れて熱く語り楽しそう。明日の朝も、早く起きて朝食を出してくれると言ってくれ、とてもありがたかった。風呂に入り、食堂の奥でビールを飲んでいるとご主人が来て、山の話で盛り上がる。さらに神奈川のヤマ屋さんが加わり、5人で山談義に花が咲く。夕食も地元の食材を使った料理で、ワインを飲みながら戴いたが食べきれない程豪華だった。

2日 晴れ 馬返登山口から旧コースを經由で山頂へ登り、下りは新コースを經由して登山口に下山後、栃木市運動公園Pに帰着。

夕食も地元の食材を使った料理で、ワインを飲みながら戴いたが食べきれない程豪華だった。

2日 晴れ 馬返登山口から旧コースを經由で山頂へ登り、下りは新コースを經由して登山口に下山後、栃木市運動公園Pに帰着。

ペンション山賊 5:30＝馬返山口 P5:50/6:15～八合目避難小屋 9:55/10:05～岩手山頂 11:00/11:15～
～八合目避難小屋 12:00/12:40～馬返 15:00/15:15＝栃木市運動公園 P20:50



朝4時30分に起き、窓の外を見ると星が瞬いていた。準備をしていると「朝食の準備が出来た」と声が掛かり食堂へ急ぐ。御主人が早起きして、我々のために朝食を用意してくれた。温かいご飯とみそ汁、焼き魚や煮物等、家のご飯より豪華だ。我輩は生卵以外は完食したが、女性達はご飯を半分ラップに包んで昼ごはんにした。予定通り5時30分に宿を出て、登山口の馬返しに5時50分に着いた。準備をして、すぐ上のキャンプ場まで行きトイレとストレッチを済ませ出発する。登山口の標識から少し下り、ブナやミズナラの樹林帯を登るようになる。すぐに旧道と新道に分かれ、登りは展望の良い旧道を登り、下りは歩き易い新道を下ることにする。すぐに石祠がある1合目で合流し、展望のきく2合目とうふ石で休憩を取る。さらに登ると裸地帯からミヤマハンノキやミネヤナギなどの林の中の道になり、2. 5合目で再び新旧二つの登山道に分かれる。左の旧道を進み、3合目に出ると展望が開け盛岡市街や姫神山、早池峰山などが眺められる。3. 5合目を過ぎると露岩帯を登るようになり、一步一步高度をかせいで行く。5合目を過ぎると灌木帯を抜け、見晴らしの良い大蔵石に着くが、キケンの看板があるので少し上の安全な場所で休憩する。素晴らしい眺望を眺めながら、ミカンやまんじゅうを食べエネルギーを補給する。ここから急坂を登ると、石祠のある7合目で新道と合流する。7合目からの眺望は素晴らしく、北側にこれから登る山頂がハイマツ越に大きく聳えている。8合目の避難小

は展望の良い旧道を登り、下りは歩き易い新道を下ることにする。すぐに石祠がある1合目で合流し、展望のきく2合目とうふ石で休憩を取る。さらに登ると裸地帯からミヤマハンノキやミネヤナギなどの林の中の道になり、2. 5合目で再び新旧二つの登山道に分かれる。左の旧道を進み、3合目に出ると展望が開け盛岡市街や姫神山、早池峰山などが眺められる。3. 5合目を過ぎると露岩帯を登るようになり、一步一步高度をかせいで行く。5合目を過ぎると灌木帯を抜け、見晴らしの良い大蔵石に着くが、キケンの看板があるので少し上の安全な場所で休憩する。素晴らしい眺望を眺めながら、ミカンやまんじゅうを食べエネルギーを補給する。ここから急坂を登ると、石祠のある7合目で新道と合流する。7合目からの眺望は素晴らしく、北側にこれから登る山頂がハイマツ越に大きく聳えている。8合目の避難小

屋までは平坦な道が続き、10分足らずでトイレと水場がある避難小屋に着く。大休止し冷たい水で喉を潤し、トイレを済ませて行動食を食べる。ハイマツの道を進むと、神奈川の山男とすれ違いお互いの健闘を称え合う。夏には高山植物が咲く9合目の不動平を過ぎ、岩手山頂である薬師岳までは荒涼とした火山礫の道をたどる。

火口縁まで登ると絶景が広がり、I 渚さんは大興奮。「こんな素晴らしい景色見たことが無い。北アルプスよりも素晴らしい。」と感動していた。火口を時計回りに進み、石仏が並ぶ尾根を登ると岩手山頂の薬師岳に着く。山頂からは360度の大大パノラマが広がり、早池峰山はもちろん八甲田山、鳥海山、秋田駒ヶ岳等々が望め素晴らしい。火口内には火口丘の妙義山がそびえ、地球の光景とは思えない荒涼とした風景が見られた。ゆっくりと眺望を楽しみ、ご褒美のナンや菓子をいただく。風も無く穏やかで、これほど遠望が利く日はめったに無いようだ。眺望



を楽しんだら、火口縁の反対側を下り避難小屋まで戻る。まだまだ登って来る人が多く、すれ違いで道を譲りながら降り避難小屋に着いた。ランチタイムとし、今日の山ご飯はきのこ入りラーメンとパン。昨日早池峰山で採ったナラ茸を沢山入れ、女性達は朝食のご飯と一緒に食べていた。キノコの出汁と、食感を味わいながら美味しくいただき下山する。7合目まで来た道に戻り、7合目分岐から新道を下る。新道は樹林の中に付けられた登山道なので、眺望は無いが歩き易い。また紅葉を楽しみながら下れ、旧道とは違った趣がある。今日も皆さん快調で、計画のタイムよりかなり早いスピードで降りて行く。

2. 5合目で旧道を合流し、1合目からも新道を下り、アツと言う間に登山口のキャンプ場に着いた。キャンプ場でトイレを済ませ、車に戻って帰路につく。

途中、国見 SA で夕食を食べ、栃木市運動公園に1時間以上早く着くことが出来た。

二日間素晴らしい天気にも恵まれ、天気が悪い荒川三山から早池峰山&岩手山に変更し大正解だと思った。